



アオヤギ有希子の 議会報告

〒193-0944 八王子市館町1097-1-2-901
TEL 642-6344 ・ FAX 646-8055

アオヤギ有希子の活動日誌 [検索](#)

**若者サポートステーションが
八王子市に設置決定**

党市議団の公約としてかかげていた若者支援として八王子市に若者サポートステーションの設置がいに実現しました。若者サポートステーションはひきこもりになった若者のカウンセリングや就労支援、就労体験など多様な支援を行い全国でも実績をあげています。

私も、これまで一般質問や予算の総括質疑でも取り上げ、昨年の予算の際には、八王子市が国に対し、事業者を推薦して若者サポートステーションに名乗りを上げました。国は選定からはずれていました。今回再び八王子市が名乗りを上げ、事業者が国の認定を受けたということです。八王子市として新たな若者支援に踏み出すことができ大変うれしいです。



若者サポートステーションが 八王子市に設置決定

保育園の待機児405人に

今年の保育園の待機児は405人と三多摩でも一番多い状況です。特に0〜2歳の待機児が多い状況です。産業振興部が行った「高齢者・女性の就業に関する実態調査」でも、待機児が特に多い由井・北野（東南部地域）、本庁（中央地域）の地域で女性の就労意識が特に高くなっていることがわかりました。この調査では「保育園など周辺環境の整備が整えば就労する可能性もあることが伺える」と言及しています。都や市の未利用地を優先的に保育園増設にまわせば、認可保育園を増やして待機児を解消することができます。

八王子市は、これまでも認可保育園を増やし2013年度予算でも、5園で定員171人増やす予定ですが、依然として待機児が多い地域がありさらに増設が必要です。待機児を解消させ、子育てする市民のみなさんを応援していきたいと思えます。



被災者・被災地支援さらに充実を 八王子市は福島県いわき市へ職員派遣

私は総括質疑で、市民の被災者・被災地への支援の広がりを取り上げました。私も参加している復興支援・災害対策特別委員会でも要望された「支援する被災地を決め、顔の見える支援」について、八王子市は原発事故で苦しむ福島県いわき市へおもむき、要望を聞いてきました。その中でいわき市からは「住宅や道路、上下水道など復旧工事を管理監督する土木職職員が不足している」と要望があり、継続的に土木職職員を派遣することにな

ったということです。

またいわき市からは風評被害により農作物をはじめとする物品販売に大打撃を受けており、いわき市の物産品を市内のスーパーで売れるような定期的な販売ルートの確立などの要望があり、八王子市でも「八王子市のイベントでのPRなど支援を継続したい」と答弁がありました。市民が行う被災者・被災地支援へのボランティア助成金の再開も求めたところ、「社協と検討している」と答弁がありました。

後期高齢者医療制度の窓口負担 3割でも、1,654人が1割に

後期高齢者医療制度で窓口負担3割になる基準には前年の課税所得145万円以上又は、収入380万円以上（2人世帯520万円以上）の2つの基準があり、どちらかが下まれば1割負担となります。

しかし、東京都後期高齢者医療広域連合が作成する保険証は課税所得のみの基準で作成されているため、収入基準が下まわり3割から1割になる可能性がある

方は1,654人もいることがわかりました。市でもこの1654人に申請をしないよう通知をしています。内容はわかりにくく申請されていない方が多いです。私はさらに分かりやすい通知をするように求め、市側からは「通知を工夫して改善し、通知したい」と答弁されました。



無料法律相談 お気軽に相談を!



- 4月24日(水) 19時～21時 台町市民センター
- 八王子合同法律事務所の弁護士が対応します。
- 事前に予約が必要です。
予約は、642-6344（地区委員会）まで

特養ホーム建設をめぐる重大疑惑！ 1ベット300万円 総額4億6200万円を市が助成

石森市政の新年度予算の最大の目玉政策として新聞報道された、特別養護老人ホーム整備費補助に重大な疑惑が生まれました。

日本共産党市議団は今予算案の最大の問題点として追及し、公正、公平な行政を求める立場から事業の中止を求めました。

すでに具体的な事業者が決定されているのか

“本人(A事業者)が言っているの。一五四床やると言っているの。”

補助制度の内容は、医療対応や看取り介護が可能な特別養護老人ホームを建設する事業者に一床当たり三百万円、応募床数一五四床、総額四億六千二百万円を補助しようとするもの。三月一日からすでに募集を開始し、四月に応募を締め、五〜六月で審査を行い、七月に事業者を決定するスケジュール。

予算審査特別委員会の冒頭、この問題を取り上げた自民党新国会のT議員は「これが特養の応募要領なんですか。まるで病院を建設する応募要領です」とし、「応募要領の要件と特養(A事業者)の要件が一致している。本人がもう言っているの。一五四床をやると言っているの」とすでに具体的な事業者が決定している旨の発言が行われました。そして「接触した議員がいるでしょう。誰と接触したんだ」との問いに、担当課長は「今年度、四月にF議員から提案をいただいております」と答弁。

特養ホームへの今回の助成制度は、自民党新国会のF議員の提案であることが明らかになりました。そして、「この施設といつから議論を始めたの」との問いに担当課長から「4月にF議員から提案をいただいた後、八王子市内で唯一10項目をしている施設に対して現場視察を実施させていただいた。五月ぐらいと記憶している」と答弁がされました。



自民党F議員と“本人”との関係もホームページで明白

「本人」のホームページから

- 「八王子市議会議員のF氏の新春を祝う会に参加させていただきました」
- 「12月土曜日F議員総決起大会での挨拶」
- 「F市議会議員のパーティーが開催され市長はじめ皆さん参加されていました」
- 「子安町で委託を受けた地域包括支援センターの内装工事が終了しました。F工務店さんに工事を依頼し〜」

今後、指摘のあった事業者が応募し、最終的に選定されるかどうか、それとも58万市民への信頼を優先させ、賢明な判断を石森市政が下すのか、注目されます。

今後のスケジュール

H.25年 3月	特別養護老人ホーム 整備運営候補事業者募集開始
4月	応募締切
5~6月	審査
7月	整備運営候補事業者決定
9月	都補助金協議
H.26年 6月	都補助金内示
10月	施設建設工事開始
H.27年 12月	竣工
H.28年 2月	施設開所

八王子市食肉処理場 市が敗訴

2月7日の東京地裁立川支部の判決では「裁判所の決定を無視するかのよう」と市長の態度は甚だ遺憾で、理解に苦しむ。地方公共団体であることを考慮しても、もはやその良識に期待する余地は見いだせず、将来的に賃借権を物理的に妨害する行為におよぶ危険性がある」と市を厳しく批判、2月26日の東京地裁判決でも「裁判所の判断が出ても従うつもりはないなどの発言をし、実際そのような行動をとっていること

自体、法治国家における行政機関として通常考え難い事態であるといわざるを得ない」としていずれの裁判でも市の対応を厳しく処断。

党市議団では反訴の提起にも反対し、控訴について取り下げるよう求めています。この間の市の対応により、食肉処理組合に取り返しのつかない損害を与えたばかりか、市への信頼、信用に傷をつける事態になり、早急に解決すべきです。